



木ノ村 茉衣

ヴァイオリニスト／きのむらまい

profile●5歳よりヴァイオリンを始める。第67回全日本学生音楽コンクール高校生の部大阪大会第1位。第24回KOBÉ国際音楽コンクール最優秀賞及び兵庫県知事賞受賞。2019年度小澤国際室内楽アカデミー奥志賀に参加。第17回千葉市芸術文化新人賞受賞ほか、多数の賞を受賞。サントリー室内楽アカデミー第6期フェロー。

違う価値観の集まりから生まれる
音楽のエネルギーを届けたい

東京藝術大学大学院に在籍しながら、将来の夢の実現に向けて活動する木ノ村さん。ヴァイオリニストとしての将来の夢や、音楽の魅力について伺ってみました。

ヴァイオリンを始めたきっかけは何ですか？

私は小さい頃、アメリカのシカゴに住んでいました。シカゴでは、世界的にも有名なオーケストラの演奏を、野外のステージで気軽に聴くことができました。素晴らしい演奏を聴く機会に恵まれたこと、当時習っていたクラシックバレエの音楽に魅力を感じていたこともあり、ヴァイオリンを弾いてみたいなど幼心に思ったんです。

その思いは消えず、日本に帰国後、5歳の誕生日兼クリスマスプレゼントとして両親がヴァイオリンを買ってくれて、音楽教室に通うようになりました。

プロになろうと意識したのはいつ頃ですか？

第67回全日本学生音楽コンクール高校生の部大阪大会で1位になった高校1年の頃です。それから東京藝大を目指し、今は大学院の2年生として、将来のことを意識しながら活動しています。

最近の活動内容を教えてください。

院生として学びながらプロとして演奏活動も続け、ヴァイオリンの指導などもしています。昨年9月からサントリーホール室内楽アカデミー第6期アンサンブルに参加し、そこで結成した「ドヌムーザ弦楽四重奏団」で、今年2月にコンサートを行いました。12月には幕張テクノガーデンでヴァイオリンとピアノのデュオコンサートを開催する予定です。

ヴァイオリンと音楽の魅力はどのようなところにあると思いますか？

ヴァイオリンは、すごく感動したとか衝動的に感情を揺さぶられるとか、そういうものに近い要素を持った楽器だと思うんです。例えば、オペラで女性が歌うアリアとか、愛を伝えたり激しく怒ったりする声に似ているというか。激しい感情を表したような音が、ヴァイオリンの音です。ヴァイオリンは、何かを伝えようとする歌に寄り添うような音を出します。それが魅力かなと思います。

そして音楽は、人としての尊厳を持って生きていくために必要なものだと思っています。私の味わいたい感動は、日常的に過ごす中で、あっと思う瞬間なんです。どこかへの行き帰りの道で、行きはなんととも思わなかった風景が、帰り道ではすごくキレイに見えたというような。その瞬間的な感動を表すのが音楽なんじゃないかなと思います。

ヴァイオリンを続けてきてよかったなと思うのはどんなときですか？

練習や演奏中に常々うれしいなと思っているのは、誰かと一緒に弾いているときに、表面的な「音が合った」ではなく、もっと奥底で「あ、合ったな」と感じたときです。

そして、過去の偉人が残してくれた曲に、曲に込められた想いに、楽器をとおして寄り添える瞬間が幸せだと感じます。演奏していると、時代を超えて普遍的な感情があると感じることがあります。その普遍的な感情が、心を癒してくれたりします。

私の演奏を聴いて、「なんか今コロナのことを忘れちゃった」みたいなことを言ってもらえたとき、音楽を続けてよかったなと思います。



木ノ村さんのヴァイオリニストとしてのセールスポイントは何ですか？

人の心に届くような演奏を心がけています。自己完結ではなく、みんなが持っている感情に寄り添う演奏をしたいですね。いろいろなつながりを絶やさない視野を持てたらいいと思うし、その視野を演奏に生かしたいと思っています。

将来の夢はなんですか？

サントリーホール室内楽アカデミーでカルテットの勉強をして、自分が表に立つよりも、誰かと一緒に演奏して引き立てるのがしっくりくると感じました。プロとして演奏する人たちはみんな違う感性を持つ違うもの同士なんですけど、その違うもの同士と一緒に演奏したときに、すごいエネルギーが生まれるということも教えてもらいました。

だから、ソロではなくアンサンブルやオーケストラでやっていきたいと強く思いました。さまざまな感性や考えを持った人たちに触発されて世界が広がるのが、たまたま楽しくて、私はおそらく人が好きで、誰かと一緒に何かを感じていたいんだと思うんです。

アンサンブルやオーケストラで、何気ない日常の小さなできごとに感動できるような人たちの、心に寄り添えるような演奏家になりたいと思っています。そして、猫が好きなので、自活できるようになったら猫を飼う。それがもう一つの夢です。

今後チャレンジしたいことはありますか？

今日本でアンサンブルの勉強をしているので、それが終わったらドイツに留学してオーケストラの勉強をしたいと思っています。アンサンブルで、人と演奏する楽しさや誰かの演奏を運んだり支えたりすることの面白さを学んで、それが演奏家としての自分の一番大事なことに繋がっていったので、その先に待っているのはオーケストラだなと。

プロの演奏家を目指す人へアドバイスをお願いします。

一番最初に覚えている音楽の感動を忘れずに、一緒にがんばりましょう。

千葉市民へメッセージをお願いします。

12月に幕張テクノガーデンで開催するコンサートは無料なので、気軽に聴きにきていただけたらうれしいです。